

令和8年度

## 海星高等学校推薦入学試験問題

# 国語総合

(100点 45分)

(注意事項)

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。
3. 問題は、4ページまであります。
4. 問題冊子や解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
5. 試験開始の合図で解答用紙の受験番号の欄に受験番号をはっきりと記入しなさい。
6. 試験終了の合図で筆記用具をおき、解答用紙を集め終わるまで席に着いていなさい。
7. 問題冊子は持ち帰ってよろしい。

1 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

「なんでわざわざ知らない人に、あいさつをしなければいけないのですか」

① 昨今では、新入社員から真顔でこんな質問をされると耳にします。若い世代を中心に広まっているとされる、いわゆる「あいさつ不要論」です。

親しい間柄でもないのに、なぜ頭を下げたり、わざわざ自分からコミュニケーションを図ったりしなければいけないのか納得がいかないのでしょうか。上司や先輩からあいさつを強要されるのに反発をする向きもあるようです。こうしたフウチョウは、コロナ禍がよりシクシクさせたこともあるでしょう。人と人が直接的に関わらない状況下で学んだ結果かもしれません。

さらに言えば、幼少期から積み上げてきた「話すこと」に対する学びの成果だとも思うのです。幼少期に「おはようございます」と自分から話しかける習慣を築いている人もいます。その人にとっては、あいさつをするのは、もはや疑うヨチのないことかもしれません。

中・高生世代であれば、この新入社員に共感できるでしょうか。面倒なことでは避けたらいいという思いはありますよね。ましてやSNSで誰でも気軽にやりとりができる時代です。あいさつに対する必要を感じることも少ないでしょう。

でも、ひと昔前は「あいさつをすること」は世間の常識でした。「最近の若者はレイギがなっていない」と指摘されるときは代表格は「あいさつもできない！」だったのです。あいさつは数あるレイギ作法のなかでも、特に優先するべきふるまいだったといえます。

今でも上司や先輩から「声が小さいよ!」、「自分から頭を下げなさい!」という指導が入ることがあります。ネガティブな経験をしている人々にとって、「あいさつ」とは、「話したくもない人に向けた形ばかりの苦痛なもの」という意味が染みついていることでしょう。しかも、勇気を出してあいさつをしたものの、まったく返ってこない人もいないわけではありません。そうすると、なんだか自分だけが損したように感じられるものです。「あいさつなんてムダ」と主張する新入社員と、上司や先輩とがぎくしゃくする構図。その根本にあるのは、お互いが感じている「あいさつ」ということばの意味と価値のずれです。

あいさつは「必ずするもの」⇕「A」、「B」⇕「C」という根本的な考え方の違いがあります。

さて、皆さんはあいさつが必要だと考えますか。もし子どもに「あいさつはなぜしなければならないの？」と澄んだ瞳で質問をされたとしたら、どのように答えるでしょうか。

(中略)

あいさつをする習慣が築かれている子は、相手意識が育まれている子ともいえます。人とつながって世界を広げたいという想おもいは、声や表情などの仕草にはつきりと表れます。あなたにとってあいさつが印象に残る子がいたとしたら、その子はもう自分の力で未来を切り拓いている証拠です。

進んで頭を下げたり、声をかけたりするのは、人への関心がなければむずかしいこともあります。だからこそ、人と通じ合うことに喜びを感じた経験があるかどうかは、子どもの成長に大切だといえるでしょう。

② 反対に、あいさつの習慣がない子は、相手意識が希薄な場合が多いものです。相手がどう感じるかを考えるよりも、自己中心的に物事をとらえることを優先してしまいます。こうした子は、ことばを上手に使うことにも慣れていません。だから当然、ことばづかいにも課題が見られます。

「やばい」、「きもい」、「うざい」、「えぐい」、「だるい」——どんな会話であっても、たいていこれらのことばで済ませてしまうことが日常の習慣になっている子もいます。中・高生であれば一度は使ったことがあるでしょうか。もはや違和感なく使っていることもあるかも知れません。

一方で、子どもの成長という側面から考えたときに、乱暴なことばづかいはマイナスに働きます。もちろん、「品がない」、「イメージが悪い」といった印象の問題もあるかもしれませんが、**D**、他者からの心証がよくないということ以外に、別の懸念事項が生じてきます。

それは「友人関係」の問題です。人と人との関係は、ことばの意味と価値を同質のものとして扱う者同士の方がうまくいくものです。先ほど例に挙げた「あいさつは話したくもない人に向けた形ばかりの苦痛なもの」という価値観であれば、これに共感できる者同士の方がコミュニティを形成しやすいでしょう。土台となるものごとの見方や考え方が合うのですから。**E**、ことばづかいが汚い人との時間が長くなれば、思考や行動パターンも自然と似てきます。

仏教の教えの中に「悪友を避けて善友を求めよ」というものがあります。近い間柄になれば、人は必ず影響を受けるものです。

だから、付き合う人を考えなさいということですね。逆も然りで、自分自身が人に与えている影響も当然あります。あなたに近寄ってくる人は、あなたのことばがいやふるまいを見ながら判断をしていることになります。

ことばづかいは人間関係づくりに大きく関係をしていくことがわかるかと思えます。 F、ことばを発することは「自分のことばづかいを好ましいと感じる人との接点をつくること」を意味しているのです。

(岸 圭介 「学力は『ごめんなさい』にあらわれる」より一部改)

問1 傍線部①「あいさつ不要論」を唱えている人は、「あいさつ」をどのようなものとして捉えているか。それを説明した次の文の空欄にあてはまる内容を、本文中から二十五字以内で抜き出さない。

あいさつは、。

問2 二重傍線部 a ～ e のカタカナを漢字になおさない。

問3 傍線部②「あいさつの習慣がない子」に対して作者が心配していることを、本文中の語句を用いて五十五字以内で説明しなさい。

問4 空欄 A ～ C にあてはまる内容として最も適当なものを次の①～④の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 特定の人にするもの
- ② 自分の意志とするもの
- ③ 自分の存在を伝えるもの
- ④ 誰にでもするもの

問5 空欄 D ～ F にあてはまる言葉として最も適当なものを次の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(同じ記号を複数回使ってはならない)

- ① ところで      ② また      ③ しかし      ④ だから      ⑤ つまり

問6 本文中の「若い世代」における「あいさつ」を説明した文として最も適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ① 若い世代は面倒なことはできる限り避けようとする傾向にあるが、あいさつをする必要性は十分に理解している。  
② 若い世代は SNS を通じての短い言葉のやりとりに慣れているため、あいさつをすることにあまり抵抗がない。  
③ 若い世代は上司や先輩から「あいさつもできない！」と指摘されることが多く、自然とあいさつをするようになっていく。  
④ 若い世代はあいさつが返ってこなかった場合は自分だけが損をしたと思い、あいさつをする必要はないと感じることが多い。  
⑤ 若い世代はあいさつを行う意義を最初は分かっておらず、立場が上の人間に教えられることで少しずつ理解していく。

問7 波線部「あいさつはなぜしなければならないの？」とあるが、このように尋ねられたらあなたはどのように答えるか。今までの自分

の経験や知識を踏まえて、四百字以内で述べなさい。解答にあたっては、題や名前は書かずに一行目から書き始めなさい。

(段落の設定は自由とするが、原稿用紙の書き方に従って記入しなさい)

問題は以上です